

## 平成30年度第1回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録

1 日 時 平成30年12月12日（水）午後2時30分～午後3時30分

2 場 所 千葉競輪場メインスタンド4階来賓室2・3

3 出席者 （委員）

篠崎委員長、藤本委員、高岡委員、山本委員

（事務局）

杉戸経済部長、鴻崎所長、布施所長補佐、森主査、蛭田

（日本写真判定株式会社）

浅岡次長、邊田所長、中嶋所長代理

4 議 題

（1）包括業務委託の進捗状況モニタリング

（2）その他

5 議事の概要

（1）進捗状況報告及び検査結果

平成30年4月から9月における包括業務委託の進捗状況について、受託業者から報告され、それに対しおおむね良好な業務遂行である旨の評価が委託者側から示された。

（2）進捗状況報告に関連する質疑応答がなされた。

6 会議経過

（1）開会

（2）千葉市経済農政局経済部 杉戸部長 挨拶

（3）日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長 挨拶

日本写真判定（株）事業戦略部 浅岡次長 挨拶

●進行（審査委員 篠崎委員長）

それでは委員会をはじめさせていただきます。

始めに議題（1）包括業務委託の進捗状況について、配布資料に従いまして受託者でございます日本写真判定からご説明をいただきます。説明終了後、施行者側から検査結果を報告していただき、それが終わりましたら質疑応答となります。それでは進捗状況につきましてお願いいたします。

●（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

平成30年度包括業務委託の進捗状況について報告

●進行（審査委員 篠崎委員長）

どうもありがとうございました。

続きまして千葉市から、この報告事項についての検査結果をお願いします。

●事務局（千葉市公営事業事務所 布施補佐）

受託者から提出のありました開催事業実施計画に基づき、計画どおり事業を実施しているかにつきまして、開催ごとに実施報告書により検査をおこなっております。現状、10月の市営競輪開催までの検査を行い、一部売上げ目標が達成できなかったものもありますが、おおむね実施計画通り良好な成績で開催業務を遂行しておるものと評価しております。

●進行（審査委員 篠崎委員長）

ありがとうございました。

それでは議題（1）について、説明が終了いたしました。それにつきまして委員の方からご質問、ご意見がございましたら挙手をお願いします。

■質疑1（審査委員 篠崎委員長）

1 ページ目のスタッフ表の見方について、教えていただきたい。

▼応答1（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

正社員、エリア社員は対等な立場で現在一緒になって事業の方をおこなわせていただいております。契約社員に関しては主に投票所や自衛警備という通常で言うとアルバイト、パート的なスタッフではありますが弊社では契約社員ということで契約を結ばせていただいておりますので、このような表記とさせていただきました。自衛警備、投票所といった記載をさせていただきましたが、基本的にはジョブローテーションとして、どこでも対応できるようにしております。合计数に関しましては実際の千葉事業所で働いていただいているスタッフ数とイコールになっております。

■質疑2（審査委員 篠崎委員長）

従来、千葉競輪場に従事員が居ましたが、それとの関係は何かありますか。

▼応答2（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

エリア社員、契約社員に関しましては弊社が包括を承る時に、千葉市から弊社の方に、雇用が変更となった方々になります。

■質疑3（審査委員 篠崎委員長）

借上開催の時は本社からスタッフ補助のような記載があつて、滞りなく開催しているという記載がありますが、本社からお見えになる社員は、普段、事務をやっているわけで、

現場の仕事はできないとか、そういった不都合なことは起きないのですか。

▼応答3（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

本社に依頼しているスタッフは、イベントを主にやっているスタッフとなりますので、逆に手馴れています。式典及びイベントに関しては経験豊富な者を数名お願いしております。千葉事業所からも、借上げ開催時には、経験させるために新人とか、今後、当該業務を担っていただきたいというスタッフを1名ないし2名連れて行っております。

▼質疑3（審査委員 篠崎委員長）

分かりました。ありがとうございました。

■質疑4（審査委員 篠崎委員長）

3場併売のことですけど、これはかなり効果がでているものなのでしょうか。

▼応答4（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

3場併売につきましては8月5日から開始しましたが、5ページをご覧ください、当初予想していた売上げよりも上回っており、かつ来場者数の方も上昇傾向にございますので、3場併売による売上げ向上の効果はあったと思っております。こちらで言うと、売上げに関しましては105%、来場者数に関しては104%とかなり前年よりも上回った結果が出ております。ただこの表の2番目、発売場数を見ていただくとやはり3場併売の効果で平均142%アップという、発売数を増やしたことによる結果となっております。

■質疑5（審査委員 藤本委員）

8ページの借上開催の売上げについてですが、借上開催場の売上げ目標が出ておりまして、来場者数は増加しているということですが、売上はそれに見合うものとなっていない。そうすると、最初に設定した一人あたりの購入単価よりもかなり下がっていると考えられます。

これは計画時の一人あたりの購入単価の設定が、正しかったのかどうか、現状に合っているのかどうか、と言うことが疑問に思われますがどうお考えでしょうか。もう一点、一人あたりの購入単価が、以前と比べ下がっていると思われますが、それに対する今後の対応はどうお考えでしょうか。

▼応答5（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

購入単価につきましては、借上開催先の川崎競輪場、松戸競輪場とも、かなり売上げをあげている場でございまして、それぞれの客単価を元に設定させていただきました。ところが実際開催してみると、借上開催先の客単価に届かなかったと考えております。

▼質疑5（審査委員 篠崎委員長）

千葉競輪場の客単価はもともと低かったということでしょうか。

▼応答5（日本写真判定千葉事業所 邊田所長）

記念開催は松戸競輪場でやらせていただきましたが、松戸と千葉の比較では、数千円、千葉が低いです。

▼質疑5（審査委員 篠崎委員長）

それに対する対応策がございましたらお知えていただけますか。

▼応答5（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

競輪の販売は、インターネット、電話投票、場外発売とありますが、記念競輪に関しては、現在売上げが好調のインターネット発売のパーセンテージが低くなります。というのも記念ということでお客様も記念車券を買いにというイメージが強いのではと考えております。そのためにインターネット発売というよりも場外発売の方が売上げの多くを占める開催になります。ただFⅠ、FⅡに関しましては、無観客で開催されるミッドナイトケイリンが受け入れられている中で、インターネット投票や電話投票が、昼間のFⅠ、FⅡに関しても反映されておりますので、FⅡ、FⅠ開催に関しましてはキャッシュバックキャンペーンを行うことでインターネット投票者に対するサービスを向上させて売上げ確保と共に単価を上げて行きたいと思っております。

▼質疑5（審査委員 藤本委員）

はい、分かりました。

■質疑6（審査委員 高岡委員）

借上開催の第4回までのレースに対して、協力場外とかサテライトとか、その売上げのデータとかはここにはあるのですか。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

申し訳ないです。そこは、こちらの方では表記しておりません。もしご入用でしたら後日作ってご提出させていただきます。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

そうですか。把握はされているということですか。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

はい、あります。集計は全て取っておりますのでご提示することは可能です。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

それに関して、去年と比べて大きな変化はありますか。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

売上げに対する電話投票、場外といった販売方式がありますが、シェア率に関しては、ほとんど変わってはいません。総売上げに対する、例えば電話投票が何パーセントだとかいうのは変わってない。競輪場で余暇を過ごす絶対数の方が、現状売上げが減っている理由ではないかと思えます。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

総売上げ自体は、変化はないですか。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

総売上げに関しましては、記念競輪に関しては先ほども述べたように全体的に売上げの方は下がっております。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

去年と今年と比べて、業界全体的にちょっと落込みがあるというのと、そのトレンドに反映したくらいの落込みという理解でよろしいですか。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

そうですね、記念競輪に関しましては全体的にどこの場も5%～10%落込んでいるのが現状です。千葉競輪場については、それ以上の下げ率となっています。ただ、今回の記念競輪については、落車による選手補充ができなかったことが、原因の一つと考えています。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

第1回から第3回までに関しましてはいかがでしょう。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

第1回目は、川崎競輪場の購買力にかなり期待し、目標額を多めに、設定させていただきましたが、結果2億5千万円、達成率84%という結果になりました。それ以降に関しましては、同じく川崎競輪場のFⅠでは105%と、3回目の松戸競輪場では98%とほぼ100%近い数字になっております。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

協力場外やサテライトはどうでしたか。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

協力場外、サテライトの売上げに関しましては、協力場外が今年増えておりますので、その分場外の売上げは上がっているかと思えます。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

それは、松戸や川崎で開催ということが大きいということですか。

▼応答6（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

千葉市の営業努力が基本となります。場間場外は、他の競輪場で売っていただくため、千葉市の営業となりますが、こちらも、昨年に比べて、増えている開催もあります。

▼応答6（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

補足させていただきます。先ず第1回の川崎でのFⅡに関しましては場間場外については千葉競輪場のみ、民間サテライトが20、第2回の川崎のFⅠレースは、場間場外が11に対して、民間サテライトが49、松戸での第3回ですが、FⅡの場合には場間場外はあまりないので、千葉競輪場のみが場間場外発売という形になります。それ以外の民間が24ついている。記念については、場間場外は39、民間は73ついている。我々もこの場外発売については営業活動ということで、他の競輪場さんをお願いしながら場外発売をお願いしている状況で、千葉に関しましては今年度6節ということで、なるべくお願いを

して、場外発売には協力をいただいている状況です。売上げに関しましては、昨年度、千葉でのFⅡの平均が、3日間開催で1億4300万円ほど、今年の川崎での総売上げが2億5200万円、松戸でのFⅡ開催に関しても2億2800万円ということで、千葉の平均から比べるとFⅡはかなり売れている。FⅠに関しましては川崎でのFⅠ開催が9億2500万円で、昨年度の千葉の平均が約7億円になります。ただ記念に関しましては、実は全国的に競輪GⅢ記念というのが昨年度はほぼ50億円以上の達成があったんですが、実は今年も、今年は特に下期は40億円台、少ないとこですと43億円という競輪場もありました。

▼質疑6（審査委員 高岡委員）

ありがとうございました。

■質疑7（審査委員 山本委員）

今こちらがクローズしていても市営競輪を続けていくのは、ちなみにその権利を維持していくために継続運営をしなければならないからですか。

▼応答7（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

自転車競走法の中では、1年に1回以上開催をするというのが条件となっていて、その条件として、今6節の借上開催をやっております。借上開催での他場開催であれば施行権維持は可能です。ただ借上開催になりますと自前の競輪場ではありませんので施設の使用料等が発生するということで収益に影響がでますので、その分場外発売をして補っているというのが現状です。後は雇用の創出ということにも競輪場の場合には繋がっておりますので千葉競輪場を場外として発売することによって雇用を維持しつつ、施行権維持のために借上開催を行っております。

▼質疑7（審査委員 山本委員）

借上費用を払っても収益は出ているといえるのでしょうか。

▼応答7（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

全部は終わっていませんが基本的には出るように今がんばって経費を抑えながら行っているというのが現状です。

■質疑8（審査委員 篠崎委員長）

借上開催は、これから1、2年続くのでしょうかけれども、今年の開催は、6回ですが、これは決められていることなのですか。

▼応答8（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

関係団体との交渉ごとで決めております。

▼質疑8（審査委員 篠崎委員長）

千葉市の努力で、6回に決まったということですか。

▼応答8（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

業界における各場での決まりというのが15節46日、それが基本となっております。通常の施設改修による節数減であれば、不足分を次度以降で補っていくということで了承がされますが、千葉の場合は、現状の競輪が今後できず、新しい競輪に向けて節数等も業界調整をしている最中であり、とりあえず、施行権維持のため全国競輪施行者協議会での会議の場で決定をし、競輪最高会議で了承いただいたというのが6節19日ということになっております。来年度につきましても今協議中という形になります。

▼質疑8（審査委員 篠崎委員長）

分かりました。回数とかグレードとか、今年は大変有利な状況でやっている気がしますが、これが来年も確保できるよう努力を続けていただきたいと思います。他にはいかがでしょうか。

■質疑9（審査委員 高岡委員）

7ページの借上開催でのイベント運営ですが、これは日写のスタッフが現地に赴いて運営に携わられていると思いますけど、慣れない場所で運営するということで何かトラブルや何か今後の改善点はありましたか。

▼応答9（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

開催に至るまでに、川崎、松戸のそれぞれ担当者と念入りに打ち合わせさせていただきまして、なるべく現地の催し物とイコールという方針で行いましたので、一応、何事も問題なく終了させていただきました。

▼質疑9（審査委員 高岡委員）

基本的には、借上開催先の既存のイベントに日本写真判定が加わっている形で行っているということですか。

▼応答9（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

弊社で実施させていただいております。仕様が同じということです。

▼応答9（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

それぞれの競輪場のやり方がありますので、極端に千葉の色を出してお客様を逆に混乱させる状況にならないよう、なるべくそこの場のやり方に則った形で式典、イベントを協議して行ったというのが現状です。

■質疑10（審査委員 篠崎委員長）

具体的なイメージがあってお伺いするわけではないのですが、今借上場で千葉市営競輪を開催して、この千葉競輪場では場外発売をしているわけですよね。するとこういうケースは競輪場自体珍しい、その本場開催と場外を同時にやっているような、全国的にいうと珍しいケースかなと思うのですが、ということで何かそういう珍しいケースだからこそ何か今後面白いことができるのではないかとということで、企画等検討していることはございますか。

▼応答１０（日本写真判定（株）千葉事業所 邊田所長）

先ほども述べたように、現在ニュースでも出ておりますシナジー効果を追い求めて行かなければいけないと思っておりますが、借上開催場と千葉競輪場を同時に運営している状態で、どうシナジー効果を演出するかは難しいところです。例えばジャパンカップ等で、１２場ある中のそことタイアップを組んで色々やってみようとなると、今流行っているニコ生チャンネルとかを連携させてやることによって売上げの相乗効果が現れるかもしれないですけども、弊社の方で共に運営させていただくとすると、なかなか思いつくのが難しい状態ですけど、何かしら案を出したいとは思っております。

▼質疑１０（審査委員 篠崎委員長）

ありがとうございます。

▼応答１０（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

一つの例でいいますと、今回の千葉記念で伊豆のトラックパーティーの模様を放映したことが、それにあたるのかなという考えを千葉市としては持っております。あとは、１２月に行われるグランプリでの南関東共同企画についても、他の競輪場よりも先に抽選会を行いました。実は、南関東地区でもこれからも共同で何かやってみようという話が出てきております。今ジャパンカップというお話がありましたけど、来年度は千葉市が、ジャパンカップ開催年になっております。ジャパンカップの加盟場が全国で１２場ございますので、うまく何かできれば、施行で協力体制を持ちながら日本写真判定の企画を出していただいて運営して行きたいと思っております。

■質疑１１（審査委員 篠崎委員長）

借上場というのは、川崎と松戸ですか。今後こういう形で行くということですか。

▼応答１１（千葉市公営事業事務所 鴻崎所長）

当初のお話をさせていただくと、南関東全７場ございます。千葉場を除いて６場には借上開催について一応、全部の施行に回ってどこで開催するのも可能になっています。ただ選手の観点からいいますと元々千葉県内の競輪選手会は千葉、松戸での選手会ですので基本は松戸で開催するのが一番望ましいかなというところで、ただ、松戸場は松戸場だけでも自場開催節数を１５節開催しなければいけないということがあります。その中で例えば、ほとんど全部の千葉の開催を松戸でやるとなるとそこで雇用されている方々のローテーションですとか、そういうのがなかなか旨く行かないというのがございまして、当初の話だと３節くらいでしたら松戸もお受けできるとなり、ではあと残りはどうするかという話になった時にまず川崎市が南関東地区の会長職の都市でもございますので、川崎市も受けて良いということで、とりあえずは松戸と川崎という決定をさせていただいた次第でございます。一応、今後とも南関東６場の中では借上開催をお願いすることは可能にはなっております。

▼質疑１１（審査委員 篠崎委員長）

分かりました。

日本写真判定（株）は借上場での開催は初めてなのかもしれませんが今年は、すでに５回経験されていますので、この経験を生かして進めていただきたいと思います。

他にはありませんか。今日、いろいろと出ました考えにつきましては千葉市、日本写真判定（株）協議の上、反映できるものはしていただければと思います。

それでは皆さんよろしいようであれば議題（１）については了承したということにしてまいりたいと思います。

●進行（審査委員 篠崎委員長）

次回開催とか調整は、いかがしますか。

●千葉市公営事業事務所 鴻崎所長

改めましてご連絡をさせていただきたいと思います。

●進行（審査委員 篠崎委員長）

それではこれをもちまして、第１回包括審査委員会を終わらせていただきます。